

## 合宿を終えて

八月の青海は、朝夕、秋の気配を感じるほど、快適であった。しかし、昼間は、なお暑く、アブにつきまわり、例年の如き有様であった。

今回の合宿は、Wanderung を中心に、マイコミ平周辺部の、我々がまだ足を踏み入れていなかった地域への踏査において、大きな成果があったといえる。

洞窟技術の内部で、問題になっていた「どこまで青海をやるか」、即ち、どの範囲で、ひとくぎり付けるかは、昨年「竜谷カルスト全域」という点で意見の一一致を見ている。その調査の重要かつ不可欠な部分を、今合宿で、やった訳である。

過去九年間、続けられてきた青海洞窟群調査も、今や、ほとんど完成したと言える。今回の第10次調査を以て、終ることになった。

報告書は、千里洞以後五年間に得られた成果をもとに、竜谷カルスト尾根という、特異な地形で発達せるマイコミ平の洞窟、ドリーネの研究が中心になると想われる。

今合宿が、事故のため延期されたにもかかわらず、実行され、成果が得られました事については、O.B.諸氏、及び関係各位の努力のあればこそと思ひ、ここに、心から、感謝します。

(CL 記)

### 主な成果

1. 竜谷新洞（竜谷第1, 2, 3, 4 洞）
2. 竜谷尾根、及び マイコミ平周辺部の踏査。
3. マイコミ平における水準測量。

## 行動記録

8月19日.

15:00. 準備完了して、大阪駅に集合。  
23:10 「立山3号」にて出発

8月20日

7:00 糸魚川駅 到着。朝食。食糧購入。  
9:10 町役場のジープに乗車。  
町役場で、渡辺氏と会う。  
青海駅で、食糧、装備（1キカン12本）積込む。  
マイコミ平へむかう。

10:30

マイコミ平入口（淨土門下）まで約1kmのところで、土砂崩れで林道不通。残念。  
下車。積んだ荷物を、すべておろす。

11:00 ~ 13:30

ダブルボッカ。B.C. 設営。

13:30 ~

### 休息

アブ、極めて少ない。夜、寒い。マムシ・ヘビの類、多い。

8月21日

8:30 出発 南沢 遊行。  
ブッシュ。

10:30 竜谷南尾根 の 洞窟（竜谷井口洞）  
へ、到着。

昼食

11:30 入洞開始  
撮影。測量。

16:30 出洞。

18:00 帰幕

竜谷第1洞 一深度100m、下に行くほど、土砂多し、岩面に粘土付着。  
夜、羽アリの大群がテントを襲う。

8月22日

8:15 出発

洞窟、ドリー<sup>ス</sup>写真撮影

(銀鳳洞、千里洞、白董洞、女奈川洞)

11:15 帰幕

12:00 ハ木 B.C. 着

13:15 渓谷井3洞(通称・石けり洞)へのルート偵察。

途中、豪雨にあい、退却。

15:40 帰幕

銀鳳洞、白董洞は、変化なし。千里洞は、洞外の雪窓あたくなし、ドリー<sup>ス</sup>の虫取り草乱取。女奈川洞は、土石砂、流木で洞口、みどめられず。

8月23日

一日中、雨が、はげしく降る。渓濱

テント場近くの沢、満水。新マロミ前にツール。大マロミの方へ流水。

8月24日

8:30 出発

渓谷井3洞(石けり洞)発見。

深度5mで細くなり、断念。  
(杉江、田中、大島、西口)

女奈川洞、新マロミ、千里洞の水準測量。  
(ハ木、大島)

12:30 帰幕、昼食

午後、豪雨

渓濱

夕方 渡辺氏 来られる。杉江、帰阪。

8月25日

8:30 出発

渓谷踏査。井4洞、通天洞等。

15:30 帰幕

8月26日

8:30 出発。南沢湖行。途中より尾根に入る。

渓谷井3洞発見。撮影。測量。

(田中、大島)

穴見山 侦查 (ハ木、西口)

15:40 帰幕

夜、雨

8月27日

8:30 出発

女奈川沢より、銀鳳洞へ、水準測量。  
(ハ木、西口)

女奈川洞の北の沢より、北西部 踏査。  
(田中、大島)

女奈川洞、以北の沢には、全く石灰岩はみられず、ドリー<sup>ス</sup>、洞窟も、全く無い。沢は、かなり長く。上部、巾広い尾根。

14:30 帰幕  
夕方 雨

8月28日

9:30 出発

新マロミの北西部 踏査。

北西部の尾根づたいに、南尾根の方へ。  
(田中、大島)

次第に、南尾根の方へ登り、淨土門前の沢まで下る。(ハ木、西口)

途中 新マロミの直ぐ上部の尾根で、熊に出会い、逃走。

15:30 帰幕、撤収開始

16:15 下山 出発

17:15 トネルを越えにじろで、マイクロバス便乗。

18:20 糸魚川駅 到着。

解散。

(C.L.記)